

米谷出張所だより

〈平成30年12月10日〉

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。



～ 堤防を歩いて点検しました。～

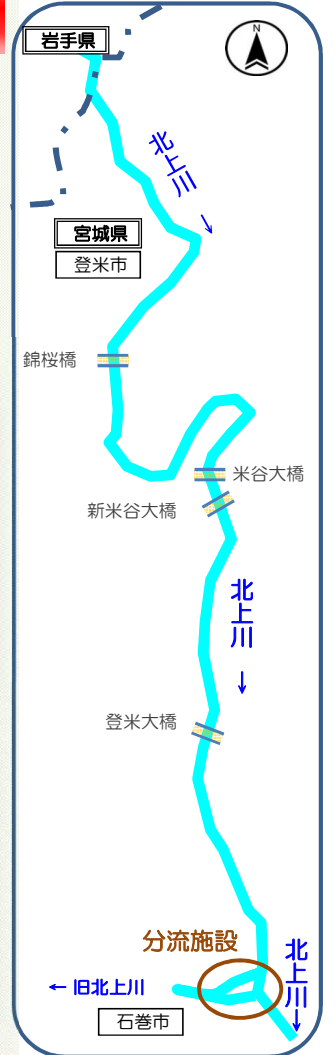


米谷出張所では、出水期前(4月～5月)と出水期後(10月～11月)の年2回、管内で管理している堤防を徒歩で目視により点検しています。

今回は出水期後ということで管内の堤防約30キロ(北上川・二股川)を、10月30日と11月20日での合計2日間で、河川事務所職員と維持業者・防災エキスパートが参加し、堤防の異状がないかを点検しました。

点検の結果・・・緊急的に対策が必要な事象は確認されませんでした。前回の出水期前の点検から経過観察としている植生異常(イタダリの繁茂)、堤防法尻の湿潤、モグラ穴、ブロック積み擁壁の開き等は引き続き監視をしていきます。

米谷出張所 管内図



～徒歩のよる堤防点検の様子～



●モグラ穴(複数)



●堤防法尻の湿潤



～地域を洪水から守るために～



水門等を操作する水位観測員さんの講習会を行いました。

平成30年12月6日(木)に、石巻市の遊学館において水門等水位観測員講習会が行われました。講習会では、洪水時の対応、ゲート操作の注意点や施設点検のポイントなどを再確認していただきました。また、昨今の気象状況は、想定できないような降雨をもたらしていることから、水位観測員の方々の防災意識向上を図り、日頃の点検時における注意点の確認や意見交換なども行われました。



☆ 講習会の様子 ☆

全体会

分科会

水門等水位観測員は、川が洪水になった際に必要な水門・樋管のゲート操作を行い、川から住宅への洪水の逆流を防ぐなど、地域の安全安心を守るために重要な役割を担っています。

